



# 陶 芸 教 室

# 子どもチャレンジスクール



**日時** 5月28日、7月9日ほか全6回  
**場所** 中央公民館本館ほか

5月から陶芸教室を開催しています。  
 粘土を練ることから始め、最初は簡単なマグカップを作りました。  
 最初は練ることだけでも次の日には筋肉痛で体が痛いというような状態でしたが、回を重ねるうちに徐々に立派な作品を作れるようになりました。  
 毎回テーマや方法を変えて作った作品は、焼きあがるのが今から楽しみです。



**日時** 5月27日、6月17日 全2回  
**場所** 瀬戸市ノベルティ子ども創造館  
 各務原市 河川環境楽園

小学3年生から6年生約40人がチャレンジスクールに参加しました。  
 1日目のノベルティ子ども創造館では粘土で作るあなあなアイランドや鑄込み体験、絵付けなどを体験しました。  
 2日目の河川環境楽園では川原で拾った石に絵を書くストーンペインティングと人の暮らしが川に与えるダメージの模擬実験を行いました。



宝安寺所蔵 円空仏

円空は美濃の国（現在の岐阜県南部）で生まれ、仏像造りの活動をしながら全国をめくり歩きました。  
 ノミで荒く彫るだけという独特な方法で造られた木彫仏像は円空仏と呼ばれ、六十四年の生涯で約十二万体を製作したと言われています。  
 円空仏は岐阜県を中心に全国で約二千体が確認されています。（知多半島では十五体確認）

白沢地区の宝安寺にある円空仏は円空が延宝四年（一六七六）ごろに荒子観音（名古屋市中川区）を中心に造像活動をしていた当時の作品で、高さ四二・五釐、木彫りの薬師如来座像です。  
 平成八年には町有形文化財に指定されました。  
 三百年以上前に造られた円空仏は今も人々の心を打つ不思議な魅力にあふれています。

子どもに伝えたい  
**あぐいのむかし**  
 2